

B.....01

御所八幡宮 クスノキ

高倉通御池下ル亀甲屋町

●高さ 11.0m

●幹周 1.39m

◆くすのき科／常緑高木

八幡宮が面する御池通は、戦時疎開によって拡幅されました。疎開当時、このクスノキは御池通の中央に残っていましたが、戦後に社殿とともに樹木も移植され、現在に至っています。



B.....02

本能寺 イチョウ

寺町通御池下ル
下本能寺前町

●高さ 18.4m

●幹周 3.90m

◆いちよう科／落葉高木

織田信長にゆかりのある寺で、このイチョウは寺の東側にある信長廟の近くにあり、途中で2本に幹分かれています。樹齢はとても古く、江戸初期に植えられたものと推定されます。



B.....03

頂法寺 イブキ



六角通烏丸東入堂之前町

●高さ 9.2m ●幹周 1.45m

◆ひのき科／常緑高木

本堂の西側にあつて、隣接するビルとほどよく調和をなしています。

B.....04

頂法寺 クスノキ



六角通烏丸東入堂之前町

●高さ 14.1m

●幹周 2.38m

◆くすのき科／常緑高木

頂法寺は6世紀に聖徳太子が創建したと伝えられる寺で、本堂が六角形であることから、一般に「六角堂」の名で呼ばれています。境内にある「へそ石」は古くから「京の都の中心」といわれています。また、本尊に毎朝花を添えたのが華道の始まりとされ、現在の池坊流家元に受け継がれています。

クスノキは六角堂の南、山門の近くにあり、均整のとれた姿を間近で見ることができます。